

1

輝く御名

イエスの御名には勝利がある
 イエスの御名には力がある
 イエスの御名には救いがある
 イエスの御名に栄光あれ

※麗しい 素晴らしい あなたの御名盛んになる
 色褪せない 衰えない 輝く御名ほめたたえる

主は我らの太陽

主は我らの太陽 恵みとあわれみの主
 正しい道を歩む者たちに 良いものを拒まない
 主よ救いの神よ 義をもっておさめる方
 主を恐れる者に注がれる あなたの栄光

※

天であがめられる主の栄光 地の上に
 闇を照らすまことの光 沈むことのない太陽
 高く掲げられるその御名をほめたたえ 嘆きの
 日は終わりを告げる
 賛美の歌 とわの光イエスに

イエス我が王を

イエス我が王を賛美で迎えん
 栄光の主の御座をもうけたまえ主よ

私は神のもの ゆえに神に捧げん
 御心のままに おさめよ主イエスよ

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ピリピ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
 = 教会員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
 = ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- ウクライナとロシアのために。戦争が終わるように。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。

信仰宣言

- 「私の家族は全員救われます」
 「日本にはリバイバルが始まっています」
 「私も用いられます」
 「すべての問題は解決します」
 「することなすこと、みな成功します」
 「私のまわりには奇跡が起こります」
 「すべてのことを感謝します」
 「イエス様がご一緒ですから」
 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
 牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



本日のゲスト
 伊藤美結(みゆ)さん→

祈りの小径(こみち)

Number: 162 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せとものの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

マルコによる福音書5章25～34節 (P.58)

25 さてここに、十二年間も長血をわずらっている女がいた。

26 多くの医者にかかって、さんざん苦しめられ、その持ち物をみな費してしまっただが、なんのかいもないばかりか、かえってますます悪くなる一方であった。

27 この女がイエスのことを聞いて、群衆の中にまぎれ込み、うしろから、み衣にさわった。

28 それは、せめて、み衣にでもさわれば、なおしていただけるだろうと、思っていたからである。

29 すると、血の元がすぐにかわき、女は病気がなおったことを、その身に感じた。

30 イエスはすぐ、自分の内から力が出て行ったことに気づかれて、群衆の中で振り向き、「わたしの着物にさわったのはだれか」と言われた。

31 そこで弟子たちが言った、「ごらんとおり、群衆があなたに押し迫っていますのに、だれがさわったかと、おっしゃるのですか」。

32 しかし、イエスはさわった者を見つけようとして、見まわしておられた。

33 その女は自分の身に起ったことを知って、恐れおののきながら進み出て、みまえにひれ伏して、すべてありのままを申し上げた。

34 イエスはその女に言われた、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。すっかりなおって、達者でいなさい」。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

- 1 あなたに手を伸ばす
衣にさわればいやされる
- 2 あなたに手を伸ばす
奇蹟は起こると信じます

イエス様 ふれてください み前に近づく私に
イエス様 ふれてください その御手の中で
声をあげてあなたをたたえます
すべてのすべてのあなたを求め続けます

4

みことばの解説

「人は70年も夢を見続けることができるものだろうか？」

神経画像を用いた調査によると、人間は年を取るにつれて、想像力を司る右脳より、論理的思考を司る左脳を頼りにして物事を認知するようになっていくそうだ。この神経学上の発見は、重大な霊的危険性があることを示している。それは、私たちの多くは、ある時点で想像力によって生きることをやめ、記憶によって生きようになるということだからだ。未来を創り出す代わりに、過去を繰り返すようになり、信仰によって生きることをやめ、論理によって生きようになるのだ。そして夢を追うことをやめてしまう。

しかし、そんな風になる必要はない。統計上は、想像力が上回る人のほうが少ないが、それは祈りの小径を歩むことで変わる。祈りと想像力は比例している。祈れば祈るほど、想像力は豊かになる。神に見合うサイズの夢に合わせて、聖霊がそれを膨らませてくださるからだ。

霊的成熟度を測るひとつの基準は、あなたの夢が大きくなっていったか、小さくなっていったか、である。時に「記憶の小径」を散策するのも悪くないが、「祈りの小径」を歩くことで、夢を見続けることも可能なのである！ (サークル・メーカーより抜粋・編集)



6月25日(日)のゲスト/午後「賛美集会」にも出演
鶴田ジェニファー唯(violin) 常定 希(cello)